

女性と胎児の薬理学

1 単位 (選択) 1 年 (前期)

Pharmacology of Women and Fetus

安井 敏之・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 山内 あい子・教授 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業概要】 女性の健康問題に関連する薬剤および妊娠・分娩・産褥期や胎児・新生児期のケアに必須の薬理学的知識を教授する。また、受胎調節実地指導員に求められるピルなどの使用薬品の薬理作用についても教授する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216931>